＜松庵小学校震災救援所資料＞

松庵小学校震災救援所　運営総合マニュアル

震度５強以上の地震が発生

連絡会のメンバーは、ある程度の状況を確認しながら松庵小学校正門前へ集合

＊鍵の保有者（三浦・出田・吉井・佐田・松島・林）

＊正門の鍵保有者の到着を待つ。避難者は松庵梅林公園に待機することを伝えると同時に、初動に協力できる避難者を募集して正門が開くまで待機。

＊震災救援所初動班立ち上げ：連絡会メンバー確認（正門内に入る）

＊「大地震が来たら」の初動看板を確認して、全体の流れを把握する。



運営者行動概要

本部機能設置と稼働	避難者の誘導と受付登録	安全点検と滞在場所等準備	救護・要配慮者サポート	物資等配給機材稼働
リーダー:会長・所長・校長 （集合メンバーから） 仮本部設置（体育館横のスペース） ＊テントを張る。学校倉庫にあるものを ＊「投光器」を設置 ＊各班のリーダーを決める。				発動機始動
＜総括班＞	**＜避難者対応班＞**	**＜施設の安全点検班＞**	**＜衛生班＞**	**＜避難者対応班＞**
初動Boxを倉庫より移動	初動Boxを倉庫より移動	初動Boxを倉庫より移動	初動Boxを倉庫より移動	初動Boxを倉庫より移動
人員配置・行動指示（班リーダー） ＊連絡会メンバーと協力員を確認 氏名を記録 総括班の初動Boxをあける：主事室の鍵置き場下 ＊初動フローチャートを貼る。 チョッキ等配布 トランシーバーを準備 避難者からの協力者募集、配置 運営管理本部設置 ホワイトボード等表示板準備 情報の収集・可視化 各班からの情報収集及び指示を ＊付箋紙等利用 運営本部を会議室に移動 会議室が使用できない場合は 校長室等を利用する 本部との初期連絡 IP無線機（移動・設置） 管理用パソコン準備・設置 区の職員が対応 注意事項、各種情報の提示 本部会議開催・課題処理（毎日） ＊必要に応じて、校長室も利用 デイリー管理業務処理 ボランティア受付・配置	校外待機指示 避難者を梅林公園に一時避難 案内板の設置・誘導 メガホン等準備 効率よく移動させる バルーン投光器を準備 避難所開設の案内 校外待機指示 避難者を梅林公園に一時避難 中央昇降口に受付を設置 簡易避難者登録カード記入 人数・滞在場所・受付No. 避難者受付設置 検温受付コーナーに誘導 一般受付（37.5度未満） 避難者を滞在場所へ案内 体育館に避難者滞在場所を表示 ＊防水シート（ブルーシート）及び通路を確保 （施設管理部と連携） 避難者名簿作成 ペット避難場所準備 鉄棒の付近 問い合わせ対応 帰宅困難者の一時避難 ＊体育館にスペースを確保 ＊西荻地域区民センターに	＊梅林公園備蓄倉庫から簡易トイレを 公衆トイレに準備 ペール缶トイレの設置 2～３人で一組を編成 できれば最低三組を 校庭点検組 本部となる会議室を優先に 体育館点検組 体育館内滞在場所の準備 ＊ヘルメット・手袋装着 ＊各組の点検確認後、本部へ連絡 トイレ点検・準備 ＊収便袋等を利用、ゴミ処理袋等も準備 校舎内点検、立入禁止表示 校舎内滞在場所準備 情報掲示板設置 ＊体育館の壁・中央昇降口 ごみ一時置場・集積所設置 西門の近く 授乳室設置 ＊あんこ応援室を利用 女性（男性）更衣室設置 女性:学校支援本部 遺体安置所設置 総合学習室準備室を利用 食料・物資配給場所準備 トイレ掃除・ごみ処理体制構築 治安体制構築 物資置場設置 荷下ろし場設置 調理場所設置 洗濯場・物干し場設置 談話室設置 外来者面会室設置	梅林公園のバーゴラテントの設置 協力者にも手伝ってもらう ＊応急手当室として利用 ＊応急救護セットを準備 検温コーナー受付設置 受付設置（37.5度以上は図書室へ） 応急手当室設置 ＊保健室を利用するが、点検確認後 防護服着用 専用受付（37.5度以上） ＊専用の滞在場所の確保 一時的に図書館を利用 避難者登録カード記入 専用滞在場所に移動 応急手当 搬送（重傷・要介護・障害者） ＊搬送の場合：救援隊本隊に確認後 要配慮者サポート 避難者の健康状況聞き取り NTT公衆電話の設置 体育館準備室に設置し、 要配慮者に連絡を取る 助け合いネットワーク登録者訪問 上記登録者宅向け食糧配布体制	資機材の払出 バルーン照明設置 投光器設置 ＊夜は特に通路等見えにくいので 投光器を設置 毛布の準備 飲料水の準備：ペットボトル 生活用水の確保 飲料水の確保（受水槽利用） 飲料水の確保（スタンドパイプ） スタンドパイプは東門に 食料・生活用品の供給 ＊庶務・情報部から指示があってから 物資等在庫パソコン設置 ＊PCが準備できなければ 手書きで一覧表に記入 物資の確保補充 ＊庶務・情報部と連携 炊き出しの実施
庶務・情報部		施設管理部	救護・支援部（衛生班）	物資等配給部